

Q10 <流れ図⑥>指導目標を達成するために必要な項目はどのように選定しますか。



特別支援学級担任

どのように必要な項目を選定するのでしょうか。



通級指導教室担当

具体的な例を知りたいです。



特別支援学級担任

必要な項目の選定に当たって、気をつけることがありますか。

A 自立活動の内容6区分27項目の中から、「④抽出した課題同士の関連の整理」を参考に、関連する項目を選定します。

以下に関連する項目を選定した例を示します。これは、特別支援学校教育要領・学習指導要領解説自立活動編 P156～159 に示されている、読み書き障がいの生徒の例を基にしたものです。

【③抽出した課題の関連】

原因 ・自分自身の困難の状態やその原因を理解する。(健)



結果 ・代替手段の選定とその習熟、代替手段の適切な使用により学習上の困難を軽減させる。(環、コ)

・代替手段や自分の得意なことを生かした方法を適切に使用することにより、学習上の困難を軽減させる。(コ)

関連 ⇕

・方法を工夫すればできるという自信を高めて

英語の読み書きの代替手段の選定と習熟、使用は、英語と日本語の受容と表出、その手段の選択と活用、状況に応じたコミュニケーションのことであるので、コミュニケーションの(2)(4)(5)が選定される。

【指導目標を達成するために必要な項目の選定】

健康の保持	心理的な安定	人間関係の形成	環境の把握	コミュニケーション
(4) 障害の特性の理解と生活環境の	(3) 障害による学習上又は生活上の困難を		(2) 感覚や認知の特性についての理解と対応に関すること。 (3) 感覚の補助及び代行手段の活用に関すること。	(2) 言語の表出と受容に関すること。 (4) コミュニケーション手段の選択と活用に関すること。 (5) 状況に応じたコミュニケーションに関すること。

英語の読み書きの代替手段の選定と習熟、使用は、自分の視覚や認知の特性の理解、視覚の補助及び代行手段の活用のことであるので、環境の把握の(2)(3)が選定される。

また、目標設定と同様、**必要な項目を選定するに当たっては、困難の背景の原因を考えると、将来の可能性を見通すことが大切です。** 児童生徒の将来の可能性を限定的に捉えるのではなく、技術革新や社会の発展も考慮し、長期的な観点から考えましょう。

特別支援学校教育要領・学習指導要領解説自立活動編の P. 109(最後の1行)～110 に、詳しく解説されています。

[文部科学省「特別支援学校教育要領・学習指導要領解説自立活動編」](#)

